

早稲田大学 法学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数4題、小問数40問。記述問題が17問、選択問題23問(内訳は正誤14問・語句選択4問、語句組合せ3問、年代配列2問)で配分はほぼ例年通り。記述問題が全体の約半分を占める。2つ選ぶ形式の選択問題は3問で、毎年3～7問ある。時代別では例年だとⅠ古代・中世、Ⅱ近世・近代、Ⅲ近代、Ⅳ戦後の4題だが、今年度はⅠ古代・中世、Ⅱ中世、Ⅲ近代(明治末～大正)、Ⅳ戦後となり、近世と明治前半からの出題がなかった。分野別では例年通り政治史・外交史がメインだが、今年度は社会経済史からの出題も多かった。第Ⅲ問の未見史料を用いての問題と第Ⅳ問の戦後史の問題はやや難しいのが特徴だが、今年度は例年以上に難しかった。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代・中世の食の確保	問2:正解=お。銅鐸は武器として用いない。問7:正解=あ・う。い・え…源義経追討が目的。問9:正解=あ・お。あ…東北地方ではなく畿内や西日本、お…木製の農具ではなく鉄製の農具。問10:解答は「親鸞」。「絶対対力」をキーワードとして親鸞が導ける。	標準
II	中世の日朝関係	問4:解答は「倭寇」。「武装集団」や明が足利義満に禁圧を求めてきたことなどから倭寇と分かる。問7:正解=う。香木は琉球から入手して朝鮮に輸出した。問8:解答は「文引」。文引は用語集頻度②の難問。問9:正解=え。硫黄は火薬の原料となるもので日宋貿易の時から輸出品。	標準
III	明治末～大正時代の政治・外交<史料>	問1:正解=い・う。い…鉄道国有法は第1次西園寺内閣、う…日比谷焼打ち事件は第1次桂内閣。問2:解答は「セルビア」。サライエヴォ事件を想起しよう。問3:正解=お。東洋拓殖会社は日韓両政府によって設立されたものなので誤り。この知識は細かいので消去法で解きたい。問5:正解=え。第2次山県内閣は憲政党の支持を得て地租増徴案を成立させた。問6:解答は「袁世凱」。1915年の二十一か条の要求を想起すれば袁世凱が導き出せるだろう。問7:解答は「西原亀三」。西原借款を想起しよう。問8:解答は「寺内正毅」。西原借款から寺内内閣を導き出したい。問9:正解=あ。やや難。あ…日本は軍事行動の範囲についてのイギリスとの合意なしにドイツに宣戦布告した。問10:正解=う。難問。まず1914年の②→⑧を決めるとい・う・おに絞れるが、他は細かな年代を覚えていないと厳しい。①1908年→③1910年→②→⑧1914年→⑤→⑦1916年→⑥→④1917年。	難
IV	戦後の地方	問2:正解=あ。やや難。他が難しいので、「あ」を正文と判断したい。問3:正解=お。難問。地方自治法は内務省廃止の前。問4:正解=う。やや難。新日本製鉄の発足は1970年なので佐藤栄作内閣時。問5:解答は「スプロール」。用語集頻度①の難問。問6:正解=い。難問。京都府知事は革新系の人物が1950～78年の間つとめている(修正いたしました)。問7:正解=あ。やや難。牛肉・オレンジの輸入自由化は1988年に決定。問10:正解=お。やや難。戦後初のマイナス成長となった田中内閣の出来事を選ぶ。	難

[総合コメント]

出題形式は例年通りだが、出題分野に変化があり(中世の問題が増加した)、例年より難易度が上がった。本学部の特徴として記述問題が多いことがあげられ、基本語句の漢字ミスに気をつけることが大事となる。第Ⅲ問の未見史料問題は定番だが、昨年度より難化している。第Ⅳ問の戦後史が例年やや難レベルだが今年度は難レベルだろう。また2年ぶりに社会経済史がよく出た。試験時間60分は第Ⅲ問で時間を取られるだろうからあまり余裕はない。